

神奈川大学工学部 電気電子情報工学科 同窓会会報

平成 25 年 10 月 No.21

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1

神奈川大学工学部電気電子情報工学科同窓会

TEL : 045-481-5661 (大学代表)

FAX : 045-491-7915 (大学代表)

E-mail: dousokai@or.tv

<http://kanagawauniv-denki-dosokai.jimdo.com/>

同窓会会長挨拶

土肥 健一 (昭和41年卒)

平成25年度電気同窓会会報の発行にあたり、会員ならびに教職員の皆様の本会活動へのご理解ご協力に対し、ここに改めて厚くお礼を申し上げます。

同窓生それぞれの立場での活躍と相互交流が、本会活動を支え活性化するベースであります。更に益々のご活躍ご発展と変わらぬご指導ご支援を宜しくお願い申し上げます。

アベノミクス論議のなかで、デフレ脱却の鍵は、成長戦略すなわちイノベーションを促し、産業を振興し、経済成長を図ることにあると言われていました。工学とはイノベーションを生む学問です。エンジニアが培った技術を昇華させることがイノベーションです。

しかしながら海外に比べ日本社会では、高校卒業時の能力選別が重視され企業は大学での成績を就職のときにあまり求めない、何を求めるかが定まっていない、日本の大学生は海外の大学生に比べ勉強しない、法学部卒が重用され理工学部卒のエンジニアを大切にしない、などイノベーションを促すには些か心細い、多くの課題があるように思います。

私達の電気同窓会は、準会員としての在籍生、現役社会人の皆様および第一線業務を退任された企業

OBの皆様の3者から構成されております。学科授業への会員講師の派遣、セミナー・オープンラボでの講演、就職活動へのアドバイスなどの活動は、3者それぞれの成長を育む作業でもあります。これらの相互交流・連



同窓会会長 土肥 健一

携・切磋琢磨が、世代のエンジニア層のすそ野を広げ、人の成長を加速し、そしてイノベーション風土を醸成する一歩になるものと考えております。2020年オリンピックの東京開催も決まりました。このことがメルクマールとなり、テクノロジー、イノベーション、ホスピタリティーなど様々な社会の活動が後押しされ、進められていくことと思います。私達も新しい段階の同窓会活動を求め、鋭意進めていく所存であります。

来る10月20日(日)には、このような活動の報告と次の事業計画の提案のための「平成25年度電気同窓会総会」を開催致します。より多くの同窓生の皆様の参加を得て、本会のあり方や活性化など忌憚のないご意見ご助言を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

る立場になられたためご多忙です。そこで、2年生

の学生実験に NEC アイシーマイコンシステム株式会社(現ルネサスマイクロシステム株式会社)ご出身の世良哲也先生、3年生の学生実験に日本電気(株)ご出身で本学科の卒業生でもあります池田紀芳先生に非常勤講師として学科運営にご



電気電子情報工学科
主任 島 健

電気電子情報工学主任科挨拶

電気電子情報工学科主任 島 健

平成25年度の電気電子情報工学科につきまして、先生方の移動よりご報告致します。猪野朋敦先生はご定年を待たず本年3月にご退職とされました。強電関連部門は大野吉弘先生に続いてのご退職となるため、渡辺研究室、新中研究室の2研究室にて強電部門を運営いたしております。第二工学部廃止に伴う学科定員減は現在強電部門に負担が集中しております。また、斎藤隆弘先生は2013年4月より副学長になられました。神奈川大学全体の運営を見られ

参画いただいております。9 月からは、猪野朋敦先生がご担当の予定でした電力工学の講義を東京電力ご出身の佐々木三郎先生に非常勤講師をお願い致すことになっております。

学科の研究室・実験室等の施設に関しましては、キャンパスのマスタープランに基づき構内では様々な工事が始まっており、昔 3 号館があった場所には新棟が建設されています。学生実験を行っていた 5 号館も取り壊しが予定されております。また情報システム創成学科より新しく生まれた経営工学科のスペースを確保するため、5 号館の取り壊しに先立って、5 号館 2 階で行われている 3 年生の電力関連実験設備を 23 号館に移設することになり、今年度末までに引越しを終えるべく作業が進められております。

学生の就職状況ですが、団塊世代の退職と景気回

復を期待してか、今年度は売り手市場とまでは行きませんが昨年までよりは好転しているようです。ただ、他大学で活発に行われているインターンシップ（実務訓練）に関しては応募する学生が少ないようです。アルバイトとは異なり、短い期間でも実務訓練を受けると学生の目の輝きが違ってくると言われておりますので、同窓生の皆様におかれましては、夏休みあるいは春休み期間の数週間の実務訓練のプログラムについては是非ご検討賜り、ひとりでも後輩を受け入れていただければとお願いを致す次第です。

末筆ながら同窓生各位のご健勝とご発展を祈念いたし近況報告とさせていただきます。今後とも、本学科の発展に暖かいご支援ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成 24 年度総会を開催



平成 24 年度懇親会後の集合写真

平成 24 年度の同窓会総会・懇親会は同窓会設立 20 周年として大学主催のホームカミングデーに合わせ、平成 24 年 10 月 21 日(日)に 20 号館 1 階 112 号室で盛大に行われました。当日は総会開催前に 20 周年記念行事として平成 25 年度より副学長に就任された齊藤隆弘教授（当時学長補佐）から大学の近況についての報告会がありました。その後、前主任の木下宏揚教授より本学科の近況報告がありました。本学科は 2012 年 4 月より「電気電子情報工学科」に学科名称を変更いたしました。これは 2012 年度の工学部・理学部リニューアルの一環として実施されました。新しい学科名には「電気、電子、情報分野の新技术に継続的に対応できる基礎学力を備えた技術者を育成し、電気・電子技術、電気・情報技術、電子・情報技術などの複数の分野する力を育む」という想いが込められています。

続いて教員 22 名を加えた約 60 名の参加者で同

窓会総会が行われました。土肥健一会長の挨拶の後、司会の秋田琢次副会長からの推薦により議長に河上芳郎幹事が選出され、第 1 号から 4 号議案についての審議が行われました。第 1 号議案として平成 24 年度の事業報告と会計・監査報告がなされ、滞りなく承認されました。第 2 号議案として次年度 25 年の活動計画と予算案が説明され、承認されました。第 3 号議案は役員変更として会計監査会計監査を学外と学内の各 1 名ずつとすることが承認されました。第 4 号議案、その他として本同窓会の活性化を図る WG の継続が審議され認められました。総会終了後は懇親会が行われ盛況の内におひらきとなりました。

平成 25 年度総会は前年度同様、大学主催のホームカミングデーに合わせ、平成 25 年 10 月 20 日(日)に開催されますので、皆様お誘いの上、ご参加下さい。



齋藤隆弘教授 (現副学長, 当時学長補佐)



司会 秋田琢次副会長

平成 25 年度総会開催案内

今年度の同窓会総会・懇親会も大学主催のホームカミングデーに合わせ、10月20日(日)に開催されます。今年度は退職された先生方も含めて多くの現職教職員が参加予定です。多数の会員の皆様方のご参加をお待ちしております。なお、ご出席・ご欠席のご連絡を10月11日までに同封のはがきか、または同窓会 E-mail アドレス宛にご連絡下さい。ホームカミングデーにも参加される方は、はがきのホームカミングデー出席欄にチェックされるか、または、同窓会 E-mail アドレス宛にてお知らせ下さい。

同窓会 HP 新アドレス

<http://kanagawauniv-denki-dosokai.jimdo.com/>

同窓会代表アドレス : dousokai@or.tv

電気工学科同窓会幹事の連絡先 :

幹事会 : 大槻 : otsuki@jdserve.co.jp,

学内幹事 : 平岡 : hiraoka@kanagawa-u.ac.jp,

土屋 : kenshin@kanagawa-u.ac.jp

学科近況報告

私と電気電子情報工学科の歩み

穴田 哲夫 (昭和 44 年卒)

私が神奈川大学に入学したのは昭和 40 年である。その当時グラウンドの脇には学生寮(A,B,C 寮)があり、学部を問わず、1フロア(各部屋は2名)に北海道から九州・沖縄の地方出身者 44 名と 4 名の先輩が我々新生生の面倒を見てくれた。朝 6 時起床、ソフトボールから始まり、10 時門限があり、桜木町で映画を見て戻ると門限違反で罰としてトイレ掃除をさせられたが、誰一人として不平不満などなかったような気がする。今となっては楽しい寮生活を送っていた記憶がよみがえってくる。さて大学 4 年になって就職を考えたとき、電球から原子力までのキャッチフレーズが気に入り、東芝を受け、なんとなく内定し、東芝の高周波トランジスタの技術部に配属された。その当時、すでに新入社員 700 名のうち 400 名が修士であった。1967 年に神奈川大学に大学院が設立されたこともあって、これからは高周波の時代との思いがあったので、もう少し勉強したいと思って、3 年後に大学院に戻ってきた。そして許 瑞邦先生の指導の下で修士を送り、その後平成 5 年まで許 研究室の助手として、神奈川大学電気工学科の発展の歴史を見てきたと同時に日本の高度成長を体験した団塊世代でもある。その間、当学科は電気工学科から平成 13 年に電気電子情報工学科、平成 18 年に電子情報フロンティア学科に名称変更したが、

高校側からあまり理解されず、2 度の名称変更を得て平成 21 年に元の電気電子情報工学科に名称を戻し、今日に至っている。この間、受験生の減少による競争力の低下、特に地方からの受験生の極端な減少が多様性を失い、活力を削いでいるように思われる。しかし、卒業生は非常に頑張っており、東洋経済新聞社の調べでは、神奈川大学の卒業生の社長数は全国の大学の中で 28 位と健闘しており、誇りに感じています。一方、入試では、神大独自の給費生試験の他に、卒業生の子弟による入試制度、AO 入試、指定校推薦など多義にわたって行われているが、質の担保を保証し、卒業生が求人に来ていただいたとき、安心して推薦できるように頑張っているつもりである。平成 4 年に電気工学科創立 50 周年を迎えたとき、本学卒業生である長谷川幹純先生が発起人となり、電気工学科独自の同窓会を設立し、歴代の会長・副会長をはじめ皆さんが力をあわせて同窓会を維持・発展してきましたが、より皆様の御協力が必要な時期に来ています。電気同窓会は、毎年 10 月の第 3 日曜日(大学のホームカミングデーに合わせて)に行っているため、仲間を誘って積極的な参加をお待ちしています。平成 20 年に創立 70 周年を開催し、次回の大きなイベントは創立 80 周年記念を盛大に行う準備をしているところである。また、最近では、現役の卒業生である社会人をお願いして、学部 3 年生の特別講義に力を貸していただき、最新の技術動向や企業で働くことの意義などを説明して

いただき、色々なアドバイスを受けている。さらに神奈川大学工学部の技術力を学外に発信するために本学においてテクノフェスタを 12 月に開催し、ここでも同窓会を中心に現役の OG・OB による就職懇談会を開催していただき、学生への的確なアドバイスをいただいている。

- (1) 特別講義：後期火曜日 4 限 (23 号館 301 教室)
- (2) 同窓会総会：10 月 20 日 (日)
- (3) 神大テクノフェスタ：12 月 6 日 (金)

各研究室の研究発表会、同窓会の就職アドバイスを協力していただける卒業生の方のご連絡をお待ちしております。

最後に、平成 30 年には電気電子情報工学科 80 周年記念行事を企画しているので卒業生の参画をお待ちしています。(anada@kanagawa-u.ac.jp)

平成 25 年 3 月 新 3 号館完成

神奈川大学の将来構想に基づく横浜キャンパスマスタープラン（施設整備計画）の第 1 段階として現在、東門（旧通門）正面の旧 3・4 号館跡地に新 3 号館が建設されています。着工は東日本大震災の影響で遅れていましたが、2012 年 2 月より開始し、完成は来春 2014 年 3 月を予定しています。新しい建物は省エネルギーや環境に配慮したエコ・キャンパスの名の元に本学の建築学科の先生方によって設計され地中熱利用の空調システム、太陽光発電を利用した照明設備、屋上緑化等、新しい形のキャンパスを作り上げる最初の一步となる校舎が完成予定です。完成の暁には正面玄関には米田吉盛先生の銅像を配し、2～4 階には本学科の学生も学ぶ講義室が配置され、地下には視聴覚室ならびに歴史民俗資料学科の展示室が設営されます。工学部ならびに本学科の思い出の 3・4 号館は今回の工事で完全に無くなってしまい寂寥の感はありますが、工学部の発展の礎となる新しい校舎の完成を心待ちにしております。皆様、機会がございましたら、ぜひご見学ください。学科教職員一同、皆様のご来校を心よりお待ちしております。



新 3 号館完成予定図：平成 26 年 3 月完成予定
(左手が時計のある 8 号館)

近況報告～許先生より～

昭和 42 年 4 月より 42 年間勤めました神奈川大学を平成 22 年 3 月に定年退職し名誉教授の称号を頂きました。現在は本学工学研究所の客員教授として「平面回路」の研究を続けております。マイクロ波又は光波用平面導波路の固有伝送モードを解析する理論と計算ソフトを整備し具体的導波路構造に適用して所望の成果を得るところです。今後長期的な展望で高周波回路を合理的に解析・設計する手法を開発したいと念願しております。尚 定年退職後も非常勤講師として今年の 9 月まで「光波電磁波」を 4 年間担当しましたので在職中も含めると 46 年間高周波回路の講義を担当させて頂き大変勉強になりました。心から感謝している次第です。(平成 25 年 8 月)



富士見研修所にて
(右：許先生，左：穴田先生)

同窓会のホームページについて

現在、随時会員が参加しやすいように、メニュー形式の HP にリニューアルしております。総会や各種のイベントの写真をスライドショーにて表示可能とし、過去の同窓会会報も入手できます。連絡用のフォームもありますのでお気軽にご利用下さい。

☆☆☆同窓会 HP アドレス☆☆☆

<http://kanagawauniv-denki-dosokai.jimdo.com/>

HP アドレスの QR コード



同窓会活動報告



同窓会員と3年生との模擬面接

「OBによる面接指導」について

平成25年度は、新たに「OBによる面接指導」を実施いたしました。就職活動最盛期となる3年生の1月末に、同窓会からOBを派遣し、実際に面接の指導を行いました。企業の面接ではどんなことを聞かれるのか、どう対応すればよいのか等、実際に面接官の経験もあるOBからアドバイスが受けられることもあり、大変好評でした。本面接指導へのOB参加につきまして、同窓会員の方々で我こそはという方は是非同窓会役員までご連絡ください。

「企業OB会」の活性化ご協力をお願い

昨年度発足し活動を開始いたしました、「企業OB会」ですが、現在6社のOBから担当を承諾していただいています。目標は20社程度まで増やしたいと考えており、卒業生の方で本「企業OB会」に参加いただける方を広く募集しています。是非ともご協力お願いいたします。

各行事の担当幹事の連絡先

同窓会幹事会行事の参加連絡先

学外幹事：河上：upstream446@yahoo.co.jp

大槻：otsuki@jdserv.co.jp

学内幹事：平岡：hiraoka@kanagawa-u.ac.jp

土屋：kenshin@kanagawa-u.ac.jp

神大テクノフェスタに関する幹事の連絡先

学外幹事：輪島：waji@jp.fujitsu.com

増淵：doubleyellow1231@yahoo.co.jp

学内幹事：同窓会幹事と同じ

「神大テクノフェスタ 2012」に同窓会として

3年連続参加

12月、学部及び工学研究所が中心となり、工学部教員によるポスター発表及び企業展示を行っている神大テクノフェスタに、当同窓会は3年連続で参加し、学生の将来の進路の相談コーナーを設けました。今回も約80名の学生が当ブースに参加し、OBから就職や企業内での生活等のアドバイスを受け大変好評でした。今年12月にも「神大テクノフェスタ 2013」が計画され、本同窓会も参加する予定です。卒業生の方で企業体験談をお話して下さる方を広く募集しています。回りのOB、OGの方にもお声掛けいただき、是非参加していただければと思います。



神大テクノフェスタ同窓会ブースの1コマ

「学内講義へのOB紹介」について

3年連続で、1年生対象の「電気電子情報入門」に2回、3・4年生院生対象の「電子情報特別講義」に5回、および「研究室交流会」に同窓会として、講師を派遣いたしました。現役学生に対し、卒業生・社会人としてアドバイスや業界・企業情報を提供し、学生からは大変好評です。特別講義終了後の研究室交流会では、出身研究室にて、3、4年生へのアドバイスをを行うとともに、教員との旧友を温めることもできます。本学内講義へのOB参加につきまして、同窓会員の方々で我こそはという方は是非同窓会役員までご連絡ください。

「同窓会ホームページ」のリニューアルに

ついて

昨年「準会員制度（学生会員）」の開始から、同窓会派遣OBによる電子情報特別講義の資料の一部を、ホームページから閲覧できるようにしました。翌週

のレポート提出に向け、学生が資料閲覧できるので大変好評です。このように、同窓会の新ホームページは大変便利かつ情報が盛りだくさんになっていま

す。学生と OB をつなぐ連絡用フォームもありますので、お気軽にご利用ください。

卒業生の声

平成 5 年 (1993 年) 電気工学科卒・(去年度)

平成 5 年に遠藤信行研究室にて博士前期課程を終了しました。神奈川大学を卒業後、CRAY RESEARCH 社という外資系スパコンメーカーに就職しました。当時は、「米国の国宝」と呼ばれるほどの勢いのある会社ですが、数年後には、ハリウッドで CG 革命を起こした Silicon Graphics 社に買収されました。その Silicon Graphics 社も「米国ハイテク企業のモデル」と賞賛されるも、PC の台頭により業績が悪化し、ニューヨーク証券取

引所からの上場取り消しなど、激しい浮き沈みを経験しました。神奈川大学を卒業してから 10 年後に、海洋科学技術センター (現 独立行政法人海洋研究開発機構) に転職し、現在に至っております。海洋研究開発機構に入社して、遠藤信行教授が音響学会における第一人者であることを、日々実感しているところです。平成 23 年には、電子情報特別講義の講師を担当する機会を与えて下さり、その際に 10 年ぶりに遠藤信行研究室を訪問しました。卒業して母校を訪れることで、改めて恩師である遠藤先生の有り難さ、偉大さ、そして暖かさと居心地良さを痛感いたしました。

(電気電子情報工学科 4 年生)

準会員の声

私が同窓会の存在を強く意識したのは神大テクノフェスタでした。3 年生の後期の実験休講日に見学したテクノフェスタでは様々な企業の展示がなされていましたが、その中に本学科の同窓会のブースがあり、電気から情報通信の分野まで広く業界の紹介が卒業生の先輩方によって行われていたことが印象的でした。初めて聞く業界の生の声に色々と興味をそそられました。その後、模擬面接やセミナーなどに積極的に参加し、社会の事や卒業生の活躍する様を知りました。後で準会員の制度を知り、同窓会 HP より入会しました。今は 4 年生となり日々卒業研究に勤しんでいますが、今後は社会へ出た後のことに思いを馳せながら、卒業生として、同窓会の会員としてがんばって行きたいと思っています。

同窓会からのお知らせとお願い

・ 会費の払い込みについて

平成 25 年度会費を同封の払込用紙で郵便振替口座 (00200-8-42851) にお振り込みください。

年会費 2 千円で、その際卒業年度、1 部、2 部・短大・大学院を必ずご記入ください。本同窓会は神奈川大学の同窓会であります「社宮陵会」とは別組織となっております。その点をご理解して戴き、ご支援・会費の納入をお願いいたします。※本年度会計報告・来年度予算案は総会にて報告後 HP に掲載予定です。

・ 現住所の連絡について

住所変更がありましたら同封のハガキ、FAX:045-491-7915、E-mail:dousoukai@or.tv または会費払込の際に通信欄にてお知らせください。本同窓会会員の住所は「社宮陵会」のデータに基づいておりますので住所変更等の連絡は、どちらかにお願い致します。